

きずな

令和7年6月15日

TEL・FAX 0954-66-3113

発行責任者 江口 常雄

す 住 み よ い げん き な みどり の さと おお くさ の
住 み よ い 元 気 な 緑 の 郷 大 草 野

今年度最初の 嬉野温泉駅ボランティア清掃 (5月25日：土)

7年度から嬉野温泉駅ボランティア清掃を大草野コミュニティの定期的な年間事業にしたいという思いで、1月26日(日)に役員中心に試行をいたしました。その結果を踏まえて、7年度の第1回目をこの日に実施しました。



とりあえず、無事に終えて、みんなではいチーズ！

色々な行事が重なって参加者数が少ないのではないかと心配していましたが、大草野小の佐々木教頭先生をはじめ、担当部会以外の方の参加も得られて、上着のLサイズとXLサイズが10着ずつで丁度20名の参加がありました。駅からも駅長を含む2名の方が加わっていただき、作業に丁度いい人数になりました。

試行の反省を踏まえて、分散せずに、最初は全員が上り線に入り、武雄側と大村側から中央に向かって清掃を行い、合流したところで上り線を終了し、反対側の下り線に移動するという要領

で行ったところ、作業の進捗状況が分かりやすく、スムーズに終わることができました。

ただ、問題点は2階のホームに水道設備が無いので、水汲み担当が必要で、1階のトイレのところまでバケツを持って何度か往復をしなくてはなりません。この担当を数名の若手をお願いしました。参加された皆さん、どんなたいへん熱心で、黙々と作業をしていただきました。「大草野の住人は、みんな真面目だなあ！」と思います。掃除は順調に、何事もなく進んで、11:15には1階に降りて、集合写真撮影となりました。



「この汚れは頑固かばい！」と、にらめっこ！

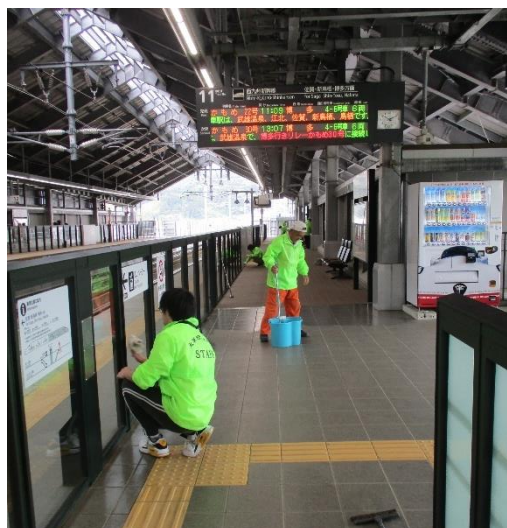
次回、7月20日

予定の担当部会は、公民館活動部会と青少年育成部会です。

このときには、夏休み最初の日曜日ということで、大草野小の5、6年生たちに親子で参加してもらえないかと学校やPTAに相談しています。嬉野に来られる観光客の皆さんを、嬉野の“玄関口”である駅をキレイに清掃してお迎えするという、体験をしてもらい、愛郷心を育んでもらえたら、たいへん嬉しいと思います。

次回予定：7月20日(日) 集合9:45, 開始10:00
駐車場は、駅東側の無料駐車場をご利用ください。

大草野コミュニティの部会員でない方も、参加したい方は、歓迎いたします。一緒に駅(玄関)をキレイにしましょう！



全校児童で芋さしをしました！（5月27日：火曜日）

これまでの芋畑は、校舎の大規模改造工事のために使えないので、今年は、校門前の西野家の畑などを借用して芋を作ることになりました。昨年まで、コスモスの種を蒔いていたところです。その名残で、すでにコスモスの芽が出て育ち始めていました。芋は、太陽の光がたくさん葉に届いて、しっかり光合成が行われれば大きく育つと思いますが、さて、新しい場所ではどうでしょうか？今日は、いい天気にも恵まれました、今年の芋苗にも天候が良い年であってほしいと願います。2時間目は、和光幼稚園の年長さんがやってきて、1年生と一



和光幼稚園の年長さん達と一緒に！

緒に芋さしをしました。今度は、1年生がお兄さんお姉さんの役割をしてくれて、年長さん達に教えてあげました。「おおきく、おおきく、おおきくなあれ！！」と元気な声で芋苗への声掛けをしてくれました。10月末になったら、昨年と同じように大きな芋がたくさん収穫



この畑でも大きく育ってちょうだい！

できたらいいな、と大人の私達も願っています。子ども達の嬉しそうな笑顔をぜひ見たいと思います。

稚魚放流体験：4年生と年長さんで！（6月6日：金曜日）

今年で5回目の稚魚放流です。昨年から、放流場所を変えて板井手堰のそばの階段状の場所で行っています。景色は、蛍橋のところがいいのですが、大きな石があり年長さん達にはとても歩きにくいし、安全最優先でこの場所に変更しました。先生が4年生に「ウナギの放流をしたことがある人？」と聞くと、一人手を挙げる子がいて、「へえ～？！」と思っていると、この行事で、年長さんのときに経験した子でした。「5回目になるから、もうそうなるのか！」と感慨深い気になりました。市の農業政策課の担当者が新採者です。「元気よく大きな声で説明して欲しい。」と頼んでいま



ウナギも、大きく大きく大きくなあれ！

いが、以前にプラスアルファをした内容で説明してくれました。今年は、中村課長にも所管事業の様子を見に来ていただき、大変良かったと思います。この事業は、子どもたちの素直な歓声がいっぱい飛び交うので、主催者側としてもとても嬉しく思います。



新採君が頑張って説明してくれました！

もう、今から来年の放流が楽しみです！

「試行錯誤を面白がる！」
年を取り、考えること、特にその解決方法に思い悩むことが少なくなつてくると、たまに難問が現れると、「さて、どうやつてクリアしよう？」とニマリしてしまふ。
大したことなくてもいいのです。最近では、国スポンサーがかし祭り用の看板を作るのが楽しかった。市が作った、黒地に、開催競技のビクトグラムを全体に配したポスターを、畳1枚のベニヤ板にどうやつて再現するか？と言うのですが、ホームセンターの中で黒ベニヤ板を見つけた時は、「よし、これでいける！」と心の中でガッツポーズ。
雨に濡れてもいいように、ビニールテープを張って、そのテープから文字を切り出す作業は手間はかかるが、そんな時間もまた楽しい。
仕事も同じ、できない理由を色々考えるより、どう対処してクリアしていくかをあれこれ考える方が、時間の無駄使いにもならないし、よほど楽しくて、自分のためにもなる。
就職した頃、先輩が上司から「若くともんが、簡単にできないと言うな！」と叱られているのを聞いて、忘れられないようにしようと思ったことがあるが、それが今も続いているのかもしれない。
何はともあれ、あれこれ考えることがあるのはいいことだ、と思える自分でいつづけるのが若さの秘訣だと、思い込むことにしよう。

〈編集後記〉